【一般社団法人 愛知子ども応援プロジェクト　令和４年度事業報告書】

◆はじめに

日頃より、一般社団法人愛知子ども応援プロジェクトの活動にご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

２０１７年８月に、前身となる「ロータリー地域社会共同隊」を立ち上げ、子どもの貧困・教育格差是正のための活動を行って参りました。２０２０年の新型コロナウィルス感染拡大により、活動の規模が大きくなりましたので、２０２２年５月に一般社団法人格を取得致しました。

私共は、「ひとりも取りこぼさない社会をつくる」という理念を掲げ、地域に寄り添う活動を行う団体への後方支援を行っております。地域で活動する団体を通して、子どもと子どもを取りまくすべての大人や社会が豊かになることを目指しております。

最も大切にしていることは「顔の見える関係を持ち、繋がり続けること」です。お渡しする支援品や事業などは、繋がり続けるためのツールだと考えております。ですから 210 か所の登録団体の皆様には、顔の見える関係を大切にしながらお子さんやご家庭へ支援を届けて頂いております。地域に頼れる居場所があること、頼れる人がいることが、孤独・孤立を防ぐことに役立つと信じております。

コロナ不況・世界情勢による物価高騰に伴う格差の拡大や生活困難世帯における事態は深刻さを増し、支援を必要とする子どもや世帯が顕在化し、より多く、より多様なチャンネルによる支援体制が必要な状況となっています。更に、長引いた感染症対策により地域でのつながりの希薄化がより一層進行し、地域力の低下が危惧される状況が続いています。私共は、ご支援者・登録団体と力を合わせて、一人でも多くの方々に笑顔をお届けできるよう努めて参ります。今後とも宜しくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

一般社団法人　愛知子ども応援プロジェクト
代表理事　富田（藤野）直子

令和４年度に頂いた助成金

● 2021 年度　むすびえ・こども食堂基金　冬募集

事業名：アフターコロナ・ワクワク応援事業

実施期間：2022 年 3 月～2022 年 12 月

事業内容：キッチンカー購入、ハブステーション助成金支給

● 令和４年度　共同募金会配分金事業

事業名：フードバンク的中間支援拡充に向けた構築事業

実施期間：2022 年 7 月～2023 年 3 月

事業内容：定期便配送車、システム管理、お米購入、
年越しそば購入、生理用品購入

● 2021 年度　休眠預金事業・新型コロナウィルス対応支援助成

「こども食堂を通じた復興格差是正・防止事業
－コロナ禍をよりレジリエントな地域創造のステップに－」実行団体

資金分配団体：認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ

事業名：子ども食堂　継続・再開・新規支援事業

実施期間：2022 年 7 月～2023 年 2 月

事業内容：お惣菜・お肉・お米購入、アクリル板購入、
管理費

●令和４年度　愛知県自立支援体制確保対策事業費補助金

実施期間：2022 年 8 月～2023 年 3 月

事業内容：宅配便代、通信費、印刷費、車両費、業務委託費

１．食支援事業

【１－１　食料品配送事業】

多くの企業様からの支援食料品や日用品を愛知県内１６カ所の「愛知子ども応援ハブステーション（配送拠点）」に配送し、ハブステーション近隣の子ども食堂を通じて利用する子どもや子どもを取り巻く多くの人々に食を届けました。

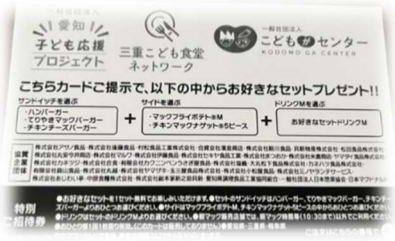
登録子ども食堂数	ハブステーション
２１０団体	１６カ所

	配送回数	延べ配布子ども食堂
定期便	４８回	１２００件
不定期便	３０回	８５０件
合　　計	７８回	２０５０件

【１－２　特別協賛事業】

季節のイベント等に合わせて企業様・個人様から特別協賛金を募り、協賛金を財源とした事業を行いました。みんなと同じように楽しい思い出にしてほしいとの思いを込めて、夏休みに使えるマクドナルド食事券事業・お正月に向けたお正月支援品事業（おせち、年越しそば）・クリスマスホールケーキプレゼント事業を実施しました。

	協賛者・社数	配布数
マクドナルド食事券	３４	１０，０００枚
クリスマスケーキ	３３	７６６世帯
お正月支援品	３５	１，６３０世帯



2．学びの支援事業

【２－１　実家基金】

経済的な理由によって教育の機会を失うことが無いように、「実家が用立てるイメージ」の基金を立ち上げました。こども食堂などの登録団体が日ごろから繋がっているお子さんが対象で、実家基金支給後も、こども食堂運営者が見守り続けることを条件にお渡し致しました。

修学旅行のお小遣い・受験料・部活ユニフォーム代・制服代・専門学校入学金などを支給し、“夢をあきらめない”お手伝いをさせて頂きました。

対象者数
９名

【２－２　コカ・コーラ寄付型自動販売機】

売り上げに応じて寄付金を頂ける自動販売機をコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様が製作してくださり、46 台を、ご賛同いただける企業などに設置しました。
自販機からの寄付金は全額、「実家基金」に充てさせて頂きました。

【２－３　ハッピークレヨンプロジェクト】

株式会社名鉄ホテルホールディングス様の企画により、ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋様での　子ども食堂ランチビュッフェご招待の事業に取り組みました。
美味しいブッフェを楽しみむとともに、ホテルやレストラン、そこで働く職業人との交流を通して様々なことを体験し学ぶ機会を応援しました。また全社を挙げてフードドライブも開催してくださり、食材・ランドセル・学用品などを多数頂戴致しました。更に、名鉄グランドホテル屋上の「メイグラ農園」での農業体験も行いました。

実施回数	延べ参加者数
１４回	２７０人

名鉄ホテルHDが子ども食堂に寄贈

食材やランドセル

名鉄ホテルホールディングス（HD）は、愛知県内の子ども食堂や学習支援団体など七団体に食材や調味料、ランドセルなどの支援物資を寄贈した。

傘下のホテル従業員から家庭で使用しない物資を集めて子どもたちに届ける「ハッピークレヨンプロジェクト」を一月に開始。これまでに一部のホテルがレストランに子ども食堂を招く活動を続けてきた経緯があり、支援をグループ全体に広げることにした。

HDの岩瀬正明社長は名古屋市内の贈呈式で「新型コロナ禍や物価高で生活が苦しい家庭や子どもたちに少しでも笑顔を届けられたらいい」と話した。

今後も、支援団体「愛知子ども応援プロジェクト」（名古屋市）を通じて県内の団体に継続的に物資を贈るという。

子ども食堂などへの支援物資の贈呈式＝名古屋市内で

【２－４　ひろがれ まなびの輪～ctc ギフトモデル】

ｃｔｃ様の企画として、社内でお子さんたちがお使いになった参考書などを集めてくださいました。学習支援団体などで、有効活用させていただきました。

３．仕組みづくり事業

【３－１　ハブステーション（配送拠点）整備事業】

愛知子ども応援プロジェクトの事業は、登録子ども食堂のほか、子ども食堂運営者の有志によって運営されるハブステーションによって機能し、維持されています。これらのハブステーションの機能強化を図る環境整備に取り組みました。今年度は、株式会社ボルテックス様からの冷凍冷蔵庫寄贈により、２か所の増設を行いました。

【３－２　キッチンカー運用事業】

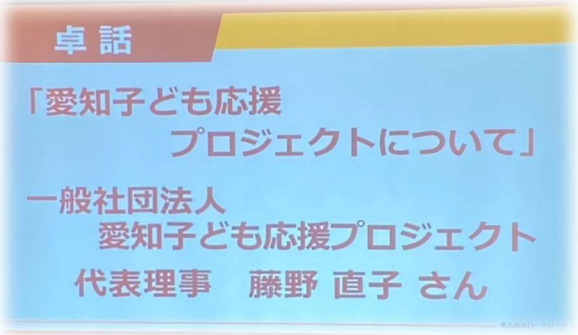
コロナ禍にあって、子ども食堂の開催が難しい中、また会場確保が困難な状況を打開するため、子ども食堂向けキッチンカーレンタル事業を行いました。

【３－３　ネットワーク整備事業】

子どもや子育て世帯を応援したい、子どもを取り巻く環境を整えていきたいという皆様の思いを有機的につないでいくため、ネットワーク強化に取り組みました。愛知県内の市町にそれぞれのネットワークが形成され、協働の仕組みが出来ました。

また、企業様から多くのご支援を頂き、子ども食堂や学習支援団体の活動に役立たせていただきました。

そして、愛知子ども応援プロジェクトの取り組みを知っていただくための講演会や卓話等を数多く実施しました。



【３－４　運営者連携事業・他団体連携事業】

「認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」の地域ネットワーク団体として登録し、様々な子ども支援情報を、愛知県内の子ども食堂などへ配信を行いました。また、2023 年 3 月 5 日に「こども食堂 10 周年記念全国ツアー　公開ワークショップ　話そう！広めよう！」を開催、運営者さんが一堂に会して情報共有を行いました。

一般社団法人 愛知 子ども応援プロジェクト